



## 平成31年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年1月8日

上場会社名 フロイント産業株式会社  
 コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成31年1月8日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 伏島 巖  
 (氏名) 白鳥 則生  
 TEL 03-6890-0750

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成31年2月期第3四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年11月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第3四半期	13,243	3.7	670	41.9	770	34.4	523	38.4
30年2月期第3四半期	13,745	6.9	1,152	20.0	1,174	21.0	849	4.1

(注) 包括利益 31年2月期第3四半期 628百万円 (25.9%) 30年2月期第3四半期 847百万円 (78.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第3四半期	31.08	
30年2月期第3四半期	49.26	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年2月期第3四半期	17,726	12,953	73.1	773.59
30年2月期	19,125	13,242	69.2	767.91

(参考) 自己資本 31年2月期第3四半期 12,953百万円 30年2月期 13,242百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		0.00		20.00	20.00
31年2月期		0.00			
31年2月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,000	9.1	1,000	49.3	1,100	44.8	800	45.9	47.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細については、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年2月期3Q	18,400,000 株	30年2月期	18,400,000 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

31年2月期3Q	1,655,480 株	30年2月期	1,155,478 株
----------	-------------	--------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

31年2月期3Q	16,846,340 株	30年2月期3Q	17,244,522 株
----------	--------------	----------	--------------

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
受注及び販売の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益・雇用・所得環境を背景に、緩やかな回復基調が続きました。

一方で世界経済は、米国の保護主義的な通商政策により中国との緊張感が高まっており、欧州では英国のEU離脱を巡る混迷など不透明さを増しつつあります。こうしたなか、「円」は、相対的な安心感から強含みでの推移が見込まれ、企業業績への影響も予想されています。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、薬価改定やジェネリック医薬品使用促進などの医療費抑制策の強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などへの対応を迫られています。

こうした情勢のもと、当社グループは、第7次中期経営計画(2018年2月期～2022年2月期)の2年目を迎え、前期3年間は成長基盤構築の時期と捉え、後期2年間の飛躍期に備える事としております。

当期(2018年3月1日～2019年2月28日)の具体的な課題として、

- ①米国・アジアでの事業強化(機械装置・化成品両面)で、より積極的な海外展開
- ②市場ニーズの強い新製品(連続造粒システム・錠剤印刷機)の本格的な業績への寄与
- ③リチウムイオン電池など新素材に関わる産業用機械ビジネスへの進出
- ④オープンイノベーションをベースとした産学との連携強化
- ⑤技術交流などを通じた人材育成

などに取り組み、将来の業容拡大に向けた経営基盤を整備しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高132億43百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益6億70百万円(前年同期比41.9%減)、経常利益7億70百万円(前年同期比34.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億23百万円(前年同期比38.4%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

#### ・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、積極的な営業活動を展開して参りましたが、錠剤印刷機など新製品の本格的な拡販が遅れており、売上高、営業利益とも減少となりました。

この結果、売上高は87億23百万円(同10.5%減)、セグメント利益は2億95百万円(同67.5%減)となりました。

#### ・化成品部門

医薬品の経口剤に使用される医薬品添加剤は、国内での大幅な需要増加と、積極的な海外進出により好調であったことにより、売上高、営業利益ともに増加となりました。特に、自社生産している医薬品添加剤は、速やかに増産体制を整え、お客さまのニーズに迅速・的確に応える準備をしています。

また、食品品質保持剤は、海外市場の開拓にも取り組むなど積極的な営業展開を図り、売上高、営業利益ともに増加となりました。

この結果、売上高は45億19百万円(同13.0%増)、セグメント利益は7億81百万円(同31.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億99百万円減少し、177億26百万円となりました。増減の主な要因は、電子記録債権が1億32百万円、商品及び製品が1億30百万円、原材料及び貯蔵品が1億54百万円増加したものの、現金及び預金が17億33百万円、仕掛品が2億50百万円減少したことによるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ11億10百万円減少し、47億72百万円となりました。増減の主な要因は、電子記録債務1億29百万円、支払手形及び買掛金が3億50百万円、未払法人税等が2億81百万円、前受金が4億12百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億88百万円減少し、129億53百万円となりました。増減の主な要因は、自己株式の取得により5億72百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績等を鑑みて、平成30年4月5日の決算短信で発表した通期業績予想から修正しております。詳細につきましては本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,568,050	4,834,828
受取手形及び売掛金	4,337,779	4,253,700
電子記録債権	113,748	246,278
商品及び製品	263,127	393,519
仕掛品	2,046,615	1,795,671
原材料及び貯蔵品	876,175	1,030,976
前払費用	110,520	156,129
繰延税金資産	175,959	226,300
その他	303,293	282,478
貸倒引当金	△10,737	△11,347
流動資産合計	14,784,533	13,208,537
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,187,803	1,199,967
土地	1,239,027	1,240,156
その他(純額)	943,601	1,140,650
有形固定資産合計	3,370,431	3,580,773
無形固定資産		
のれん	92,104	74,083
その他	10,351	19,312
無形固定資産合計	102,455	93,396
投資その他の資産		
繰延税金資産	20,632	26,487
その他	852,895	822,367
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	868,127	843,454
固定資産合計	4,341,015	4,517,624
資産合計	19,125,548	17,726,161
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,931,872	1,581,012
電子記録債務	892,011	762,710
未払法人税等	356,267	74,508
前受金	1,498,799	1,086,625
賞与引当金	210,727	128,345
役員賞与引当金	54,300	19,500
その他	620,933	797,009
流動負債合計	5,564,911	4,449,712
固定負債		
退職給付に係る負債	200,056	201,203
資産除去債務	34,977	35,093
その他	83,387	86,826
固定負債合計	318,421	323,122
負債合計	5,883,333	4,772,835

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年11月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	11,419,492	11,598,248
自己株式	△201,361	△773,363
株主資本合計	13,543,245	13,149,999
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51,132	41,574
為替換算調整勘定	△332,254	△220,316
退職給付に係る調整累計額	△19,907	△17,930
その他の包括利益累計額合計	△301,029	△196,672
純資産合計	13,242,215	12,953,326
負債純資産合計	19,125,548	17,726,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)
売上高	13,745,942	13,243,297
売上原価	8,993,321	8,874,332
売上総利益	4,752,621	4,368,964
販売費及び一般管理費	3,599,836	3,698,631
営業利益	1,152,784	670,332
営業外収益		
受取利息	2,062	3,029
受取配当金	4,749	63,727
受取技術料	10,670	5,579
為替差益	—	9,025
その他	12,953	21,667
営業外収益合計	30,436	103,028
営業外費用		
支払利息	1,259	767
為替差損	5,169	—
その他	2,253	1,945
営業外費用合計	8,682	2,712
経常利益	1,174,538	770,648
特別利益		
固定資産売却益	—	662
投資有価証券償還益	62,177	23,874
特別利益合計	62,177	24,537
特別損失		
固定資産除却損	336	2,297
固定資産売却損	1,923	—
特別損失合計	2,259	2,297
税金等調整前四半期純利益	1,234,457	792,888
法人税等	384,970	269,242
四半期純利益	849,486	523,646
親会社株主に帰属する四半期純利益	849,486	523,646



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日)
四半期純利益	849,486	523,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,143	△9,558
為替換算調整勘定	△11,080	111,937
退職給付に係る調整額	2,147	1,976
その他の包括利益合計	△1,789	104,356
四半期包括利益	847,696	628,002
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	847,696	628,002

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年4月25日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項を決議し、普通株式500,000株を取得いたしました。この結果、単元未満株式の買取による増加を含め、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が572,001千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が773,363千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	9,747,293	3,998,649	13,745,942	—	13,745,942
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,747,293	3,998,649	13,745,942	—	13,745,942
セグメント利益	910,769	593,945	1,504,715	△351,931	1,152,784

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△351,931千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
9,771,354	1,297,648	497,498	1,289,312	890,128	13,745,942

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年3月1日 至 平成30年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,723,378	4,519,918	13,243,297	—	13,243,297
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,723,378	4,519,918	13,243,297	—	13,243,297
セグメント利益	295,628	781,214	1,076,843	△406,511	670,332

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△406,511千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	北米(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
10,064,892	1,101,072	626,236	251,209	1,199,885	13,243,297

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 北米 ……米国、カナダ
- (2) 中南米 ……ブラジル等
- (3) 欧州 ……フランス、英国等
- (4) その他 ……アジア等

### 3. その他

#### 受注及び販売の状況

##### (1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	8,747,449	71.4	8,620,929	98.6
化成品部門	477,635	27.5	554,167	116.0
合計	9,225,085	66.0	9,175,096	99.5

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。  
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。  
3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

##### (2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	7,681,872	82.7	5,818,175	75.7
化成品部門	131,081	31.2	115,464	88.1
合計	7,812,953	80.5	5,933,639	75.9

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。  
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。  
3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

##### (3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年11月30日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	9,747,293	70.9	8,723,378	65.9
化成品部門	3,998,649	29.1	4,519,918	34.1
合計	13,745,942	100.0	13,243,297	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。  
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。